

市長との農政懇談会を開催



角田市農業委員会（遠藤裕一会長）は1月10日、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響で4年ぶりとなる黒須貫市長との農政懇談会を開催した。

市から黒須市長，堀米農林振興課長の2人，農業委員会から遠藤会長のほか農業委員1人，農地利用最適化推進委員12人が出席。今回のテーマである「有害鳥獣対策」及び「ごみのポイ捨て問題」について，活発な意見交換が行われた。

委員から「イノシシなどによる農作物への被害が市内ほぼ全域に広がっている。有害鳥獣駆除対策の継続とわなによる狩猟免許取得の環境づくりをお願いしたい」「農地等へごみがポイ捨てされ，農作業前にごみ拾いをする状況である。人目の少ない農村地域への監視カメラ設置などの対策をお願いしたい」などの意見が挙げられ，市に対し抜本的な対策を求めた。

黒須市長は「駆除隊による有害鳥獣の捕獲事業や狩猟免許取得経費への助成，電気柵・箱わなの購入補助などを行っており，今後も有害鳥獣による被害対策を継続していく。ごみのポイ捨てについては，関係組織と連携し，更に有効な対策を検討していく」と応じた。